

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和6(2024)年2月28日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「昨日、県議会に出席してきたが、各議員が県民目線を強調していたことが印象に残っている。また、質問に立った議員は、それぞれ相当勉強した上で質問事項を準備しており、高い文章力でしっかりと質問されていた。とても勉強になった。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和6年度組織改編の概要について

警察本部から、「組織改編の概要は大きく3項目で、1つ目は、「捜査支援分析課の新設」であり、先端技術の活用による警察活動の高度化推進および捜査支援分析体制強化のため、刑事部に新設する。2つ目は、「警戒の空白を生じさせないための組織運営に向けた、部門を超えたりソースの重点化による組織全体の抜本的強化」であり、主なものとして、①サイバー犯罪対策課にサイバー犯罪捜査支援係を新設、②組織犯罪対策課に匿名・流動型犯罪対策係及び犯罪収益対策係を新設、③組織犯罪対策課の捜査嘱託受理体制の構築と特殊詐欺首都圏派遣捜査専従班への派遣を拡充、④交通指導課に自転車対策係を新設、⑤機動捜査隊県南分駐隊を県南B T（バックアップチーム）に再編、⑥交通指導課の交通事件捜査係を増強するものとなる。3つ目は、「能率的でメリハリのある組織運営による業務の合理化・効率化の推進」であり、①会計課に研修員を配置、②運転免許課に免許管理高度化推進係を新設、③高速道路交通警察隊の三陸沿岸道路における体制の見直し及び所轄署兼務員による事案対応を試行するものである。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「必要な係を新設し体制の強化を図ることは、効果的である一方で、職員の数には限りがあるので、有能な人材については有効に活用していただきたい。」

【生活安全部議題】

○ 通信指令システムの更新について

警察本部から、「岩手県サイバー防犯ボランティアとして活動している盛岡大学学友会ボランティア委員会「結-Y o u-」に対し生活安全部長感謝状、同団体の役員を務めている大学生3名に対しサイバー犯罪対策課長感謝状をそれぞれ贈呈するものである。同団体には、令和5年中、県内の小学校及び高等学校の計4校に対し、インターネットの正しい使い方やインターネットに潜む危険性等について出前授業を行うなど、精力的に活動していただいた。その結果、青少年を始めとする、県民のサイバー犯罪被害防止及びサイバーセキュリティ意識の醸成に多大な貢献が認められたので、今回感謝状を贈呈することとしたものである。贈呈式は、3月1日午後2時から、盛岡大学において開催する予定である。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 石川県能登地方を震源とする地震に伴う本県警察官の派遣について

警察本部から、「石川県能登地方地震災害の発生に伴う石川県公安委員会からの警察職員の援助要求があり、受諾の上、本県警察官を派遣するものである。新たに援助要求があったのは、特別機動捜査部隊と特別自動車警ら部隊であり、特別機動捜査部隊は、派遣期間が本年2月29日から3月6日までの7日間、派遣人員は4人で、犯罪捜査活動に従事する予定である。また、特別自動車警ら部隊は、派遣期間が本年3月1日から3月12日までの12日間、派遣人員は6人で、パトカーによる警戒活動に従事する予定である。」旨の報告があり、決裁をした。

○ 東日本大震災津波命日における取組について

警察本部から、「東日本大震災津波に伴う行方不明者の捜索については、沿岸各警察署の管内の実情や行方不明者家族等からの要望を踏まえた随時捜索を実施しているが、本年3月11日で震災発生から13年を迎えるにあたり、同日に沿岸5署で行方不明者捜索を実施する予定である。また、震災発生当時の警察活動を広く県民の皆様にお知らせするとともに、震災の記憶の風化防止と津波防災意識の高揚を図ることを目的として、本年3月1日から同月15日まで、盛岡東警察署1階玄関ホールにおいて、東日本大震災津波警察活動写真展を開催する。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 警務課

警務課業務報告

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

公安委員会あて苦情の受理についての説明、決裁

東日本大震災津波集中捜索の激励における公安委員会委員の対応についての説明、決裁